

# 平成26年高野町成人式

# 祝 新成人おめでとう



上段 小脇 宣雅・野々山康孝・井本 翔大・西辻健太郎・阪田 裕紀・阪田 尚昭・鍛冶 公也・松本 怜真・大谷 燎平  
 下段 佐伯 公宣・大谷亜理沙・田安 麻帆・牧野 智恵・堀畑 直衣・中尾 和・小椋 隆平

# 公民館だより

高野町中央公民館  
 ☎ 56-2076  
 高野町教育委員会  
 ☎ 56-3050

去る、1月11日(土)中央公民館に於いて平成26年成人式が行われました。本年の新成人は31名(男子26名、女子5名)で、成人式には16名(男子11名、女子5名)の新成人が出席し、人生の大きな節目を迎えました。

今年の成人式も新成人自らが企画・運営を行う実行委員形式で行われ、式典の進行役として実行委員の田安麻帆さんが司会を務めました。自己紹介では、「一人ひとりがマイクを持ち、「自立したい」、「立派な社会人になるために部活動や勉学に励みたい」など、今年の抱負や親への感謝の気持ちなどを語ってくれました。

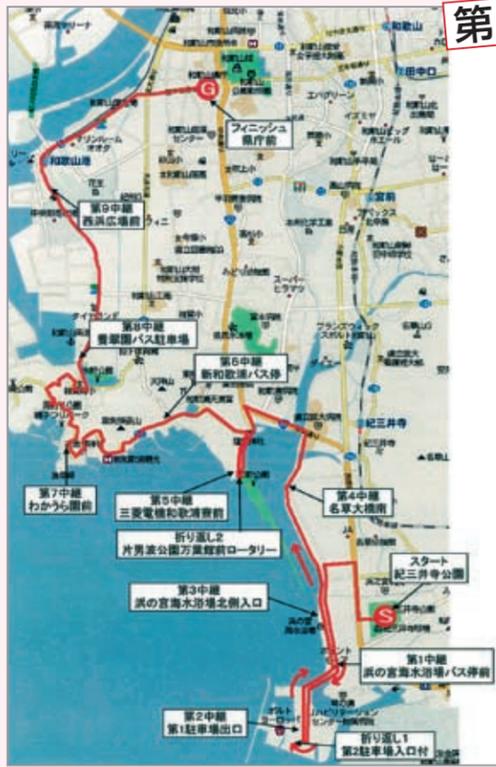
新成人を代表し、実行委員長の牧野智恵さんが「一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持つ」こと、「生まれた育った町を自分たちの誇りとして心に刻んでいく」こと、「支えて下さった両親や先生、仲間、地域の方々への感謝」や「後輩の見本になる社会人を目指したい」等を、新成人の誓いとして述べてくれました。

式典終了後には、和やかな雰囲気の中で写真撮影が行われ、恩師からのビデオレターを見て当時を思い出し、終始笑顔にあふれていました。



## 第13回

# 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会



○紀三井寺公園陸上競技場～和歌山県庁前まで  
 10区間 (21.1km)

### 高野町ジュニア駅伝チームメンバー

高野山中学校3年生	堀田 江理
〃	林 沙耶
高野山中学校2年生	大森 光龍
〃	大門 雅也
〃	伊藤 美空
〃	田輪 愛紗香
高野山中学校1年生	佐々木 蓮
〃	植木 真生
高野山小学校6年生	上岡 真比瑠
〃	門谷 樹
〃	林 主鷹
〃	大森 奏子
〃	西川 詩莉
高野山小学校4年生	佐々木 花歩

### 2月16日(日)午前11時スタート

本年も、和歌山市で開催される「第13回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」に本町の小学4年生から中学3年生までの10名(10区間)が高野町の代表として出場します。

総勢14名で、厳しい寒さの中、昨年度の高野町新記録を少しでも上回れるように一生懸命練習に取り組んでいます。

高野町の代表として、タスキをつないで走る子どもたちを、町民の皆様の、ご声援くださいますようよろしくお願いいたします。



### 私の夢



高野山小5年 西本 爽帆

私のしょう来の夢は、医者になることです。その理由は、けがをした人や病気の人を治すことはとても大切な仕事だと思うからです。もし、私が医者になれば、たくさんの患者さんの笑顔が見たいです。そしてけがをしたり病気になったりした人を精いっぱい治したいです。それから、新しい治りょう法を考えたりして、今まで治すことができなかった病気を治したいです。私はかんそうはだで、顔がカサカサの時、病院に行くと、私に合うクリームを出してくれました。それをぬると治ったのでうれしかったです。私は、医者になれるようにがんばります。

### 私の夢



高野山小5年 岸本 杏都

私の夢は、「テーマパークダンサー」になることです。その理由は、4才のころからダンスとバレエを習っていて、ディズニーランドに行ってパレードを見た時、私もこの人たちみたいにおどりたいと思ったからです。

夢をかなえるため、私は努力をしていることが二つあります。一つ目は、じゅうなん体そうをきちんとすることです。理由は、じゅうなん体そうをきちんとしないと、おどる時にけがをするからです。二つ目は、ダンスのふりつけをできるだけ早く覚えることです。理由は、ふりつけを早く覚えると、習った通りにおどらなくても、自分なりにアレンジできるからです。これからも、テーマパークダンサーに近づくようにがんばりたいです。

### ぼくの好きなこと



高野山小5年 三谷 康世

ぼくは、自転車をこいで遊ぶのが好きです。なぜなら、友だちといっしょに自転車をこいで、コンビニに行ったり公園に行ったり遊んだりすると楽しいからです。なぜ自転車がいいかというと、歩くより速いのとエコだからです。

得意な教科は、図工と理科です。図工では、木でパズルを作っておもしろいのができたりするので、工作が楽しいです。理科は実験がおもしろいです。せん風機を作った時、電池の数によって風力が変わるのがおもしろかったです。今年は「色々なことにがんばってチャレンジする」を目標にします。特に、本をたくさん読むことや国語の勉強をがんばることにチャレンジします。6年生になっても色々なことをがんばりたいです。

### 全力でがんばる



高野山小5年 相馬 啓佑

今年のぼくの目標は、「少年野球をがんばること」です。まだ入部して間もないけれど、キャプテンをつとめることになりました。キャプテンに決まったとき、すごくびっくりしました。けれど、がんばろうと思いました。たくさん練習をして、チームのみんなを引っばっていけるようにがんばりたいと思っています。熱心に指導してくれるかんとか、コーチ、そして、ぼくを支えてくれる全ての人に感謝しながら、今年、全力でがんばります。特に、バッティングでは、すぶりをがんばろうと思います。キャッチボールでは、相手の胸に投げられるようにがんばりたいと思います。チームワークを大切に、みんなとがんばりたいです。

### 自分に挑戦



高野山小6年 大森 奏子

私は、今年で12才です。そしてもう少しで中学生になります。残り少ない時間の中で新たな目標を作りました。それは、和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の高野町の選手の一としてがんばることです。

初め、私は参加するのがいやで拒否していました。なぜかという、走る事があまり好きではなかったからです。でも、家族や先生、町の方々から参加をすすめられたので、がんばってみようと思ったこと、代表として行けることがすごいことだと思ったから参加することにしました。

私は代表として出るため、練習もくじけないでがんばりたいです。そして、目標を達成するため、高野町のために自分に挑戦したいです。

中学生になっても、何事にも前向きに努力をして挑戦していけたらなあと思います。

### 私の目標



高野山小5年 田島 鈴夏

私は、運動が苦手です。だから、今年の私の目標は、「運動をがんばって得意にしたい」です。目標をかなえるために、体育の時間は積極的に取り組もうと思います。そして、一番がんばろうと思うことはマラソンです。秋にあるマラソン大会には、去年のマラソン大会の順位よりもっと前の順位でゴールしたいと思っています。

他にも、私はボールを使うスポーツが苦手だけれど、いっぱい練習して得意にしたいです。今、体育でキャッチバレーボールをしています。私は、アタックがきまるようにがんばって練習をしています。それから、とび箱も、何段でもとべるようになりたいと思います。運動に積極的に取り組んで、今までよりもっともっと運動やマラソンが好きになるように、また、得意になるようにがんばりたいと思います。

### 今年の目標



花坂小5年 眞野 貴気

ぼくの今年の目標は、1年生からしている鬼もみ太鼓を上達させることです。基礎は出来ていると思うので、確実にダイナミックに太鼓を叩くことが目標です。

鬼もみ太鼓は、般若の面を付けて舞うのが特徴です。それには、力強く舞って鬼らしさを出すことが大切です。それから、和太鼓のリズム曲の中でまだ習っていない曲があります。だからその曲もこれから頑張りたいです。

ぼくは、この5年間いろんなイベントに行ってきた。その中でも一番良かったのは、自然社の50周年大祭に参加した時です。ここでは、太鼓も鬼の面を付けて舞うのもうまくなりました。これからは、それ以上の結果が出せるように頑張ります。そのためには、前から「もっと練習量を増やさなきゃ。」と思っていたので、家でもたくさん練習をしています。

中学生・高校生になるとやめていく人もいます。だから、その人達の方もしっかりやっていきたいです。

### 中学生になったら



高野山小6年 下名迫 亜衣

私は漢字を覚えるのが苦手です。漢字を覚えるためには、何度も書いて覚えるしかないと思います。そして、何も見ずに答えられるようになりたいです。今年、春から中学生になり、中間テストや期末テストなどたくさんのテストがあって、さらに難しい漢字もどんどん増えると思います。

少しでも苦手を克服して、多くの漢字を覚えられるようにがんばりたいです。

### 今年の目標



高野山小6年 中野 貴人

ぼくの今年の目標は、勉強とスポーツをがんばっていききたいです。

なぜなら、勉強は苦手な科目があるので、「苦手」をなくすように努力したいです。

スポーツでは、小学校にはいる前からぜんそくで、激しい運動が苦手でした。体力をつけるために、自主練を家でしています。基礎体力をつけるために、少しずつできることから始めています。最近では、少しは効果がでてきたと思います。また今年は、再チャレンジの年にもしたいと思います。

### わたしの夢



花坂小5年 上田 和凜

わたしは、将来動物のけがを治したり、病気を治したりするじゅう医さんになるのが夢です。

わたしは小さい時から犬や猫などの動物が大好きです。もし家で飼っている愛犬(小春)が病気になったらとても悲しいです。だから、そんなときちゃんと治療をしてあげたいからです。

最近、ペットを飼っている家庭が多いです。定期的に予防注射をしたり、病気になったりして動物病院に連れて行くことが多いです。わたしは、動物たちと触れ合うことも大好きなので、病院に来た動物たちを優しく診察してあげたいです。そして、わたしが治療して元気になってくれたらうれしいです。

じゅう医さんになるためには、動物の種類や病気の種類・薬・治療方法などを知る必要があります。今から興味をもって詳しく調べたりして勉強していきたいです。

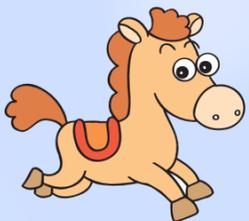
### 今年の目標



高野山小6年 目黒 智世

今年は、勉強やスポーツを中心に過ごしていきたいです。普段、私はマンガをよんだり録画していた番組を何回も見たりして宿題をしなくて自由気ままに過ごしていたりします。そうすると母に「そんな事ばかりしないで勉強(宿題)しなさい」と叱られます。その度に、「はあ、うるさいなーもうちょっとゆっくりさせてよ」と言いたい気持ちがいっぱいあります。しかし、そういう事を毎日の様に行っていくときちんとした大人になれないのではと考える様になりました。

そういうことを無くすには、何か熱中することを作ったりしたらいいと思います。たとえば行きたい高校、大学があるからそこに行けるように勉強に熱中したりすることが大切だと思います。それに私は、理数系がすごく苦手です。文系は少し得意です。理数系も文系の様に得意になるように熱中して勉強していきたいです。スポーツも、あまり得意ではないので勉強と同じ様に頑張っていきたいです。



# 平成25年度 町民教養講座

今年も実施予定です。お楽しみに。



第1回 和太鼓体験



第2回 茶道教室



第3回 観音経物語



第4回 中門再建工事の現場から



第5回 高野山の歴史から秀吉と木食上人応其



第6回 地域防災について



第7回 子どもたちと語る読書の楽しみ

## 大人のサンわく学実施報告



11月24日、25日の一泊二日で、三重県伊勢市等で大人のサンわく学を実施しました。一日目は、夫婦岩で有名な二見浦を散策して昼食を取った後、式年遷宮が行われた伊勢神宮(外宮・内宮)への特別参拝を行うことができ、外宮では、遷宮前まで使われていた古殿と、遷宮したばかりの生き生きとした新たな社殿を間近で目にすることができました。二十年に一度という式年遷宮は、技術を伝承するためにも合理的で、二十年ごとに造り替えられる常に新しくみずみずしいご新殿で、永遠に変わらぬおまつりが執り行われる、継承の文化としても世界のどの国でも見られない、とても大切な儀式だと知ることができました。

二日目は伊勢神宮の奥の院で、伊勢参りの後、ここを参拝しなければ「片参り」といわれる、朝熊山(あさまやま)金剛證寺を参拝し、高野山の奥の院の昔の姿に似ているとされる卒塔婆林を歩きました。帰途、奈良県の長谷寺を訪れ、雨となりましたが、十一面観音の大きさに驚きました。

研修では、山陰加春夫先生に説明をいただき、先生より、「20年後も、大人のサンわく学で伊勢神宮を参拝しましょう」とのご提案をいただき、とても有意義な研修となりました。



## 第38回 文化表彰式

平成25年11月3日の「文化の日」高野山会館に於いて文化表彰式が遂行され、今年度文化奨励賞受賞のエヴァーグリーンコーラス様に高野町文化協会(徳富義明会長)より賞状並びに記念品が授与されました。

平成25年度 文化賞

エヴァーグリーンコーラス「地域文化の活性化に寄与」  
会長：添田 清美 指導：城内 育代



### 【ご紹介】

1985年(昭和60年)9月、当時、高野山母親クラブ東会長が地元高野町に「児童合唱団を作りたい、子供と共に歌える合唱団を作ろう」という思いから仲間呼びかけをし、コーラスを愛する人たちが、現 添田清美(蓮華定院)代表のもと集まった。

しかし、コーラスに関しては初心者、指導いただける先生を紹介してもらうため、すでにコーラス活動をおこなっていた橋本市に赴き社会教育課を訪ね、現指導者である城内育代先生を御紹介いただき、「指揮者が見つかるまで、1年間指導の協力をしましょう。その間に指導者を捜して下さい」と言う約束で、エヴァーグリーンコーラスとしての活動がスタートした。

しかしながら城内先生の指導に対する情熱と責任感、そしてメンバーから寄せられる厚い信頼が活動の原動力のひとつとなり今もお指導者として現在に至っている。

発足以来、28年、町民文化祭、公民館大会への出演等、高野町内での活動はもとより、県内、国内にとどまらず海外にまで広がり、メンバーの美声は衰えることなく現在多方面において活躍中である。

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 指導者    | 城内 育代                         |
| ピアノ伴奏  | 城内 慎吾                         |
| 会長     | 添田 清美                         |
| アルト    | 今井 悦子・福本 生子・北川 淳子・前坂 孝子・石井 大子 |
| メゾソプラノ | 西山 和代・岸 栄子・福岡 育代・石井 智代・古澤 祐子  |
| ソプラノ   | 鍛治 洋子・西川紀美代・榊井夫佐子・松田世津子・泉 喜美子 |
- (敬称略)

## 公民館改造中

高野町中央公民館長 中島 紀生

高野町中央公民館の入口左手に小さな公民館長室があります。急な坂を登って来られるとまず目に入るガラス張りの部屋です。このガラスに小さく「公民館改造計画」と書いた紙が貼ってあるのにお気づきの方はどのくらいいらつしやるでしょうか？

昨年4月から「改造」第一弾として図書室に司書を配置して、土曜日もご利用いただけるようにしました。ボランティアによる読み聞かせや映画会も実施しています。「こうやくん」の図書利用カードも作成しました。おかげさまで利用者、貸出冊数とも前年の「倍返し」ならぬ2倍というありがたさであります。

第二、第三の矢を放つべく全国公民館研究集会や近畿公民館大会などで先進事例や公民館運営のポリシーを学んでおります。全国大会では次のような宣言が採択されました。

- 1、誰もがちょっと立ち寄ってみたいくなる公民館にします。
- 2、自己変革・自己向上が図れる公民館にします。
- 3、地域社会で必要とされるリーダーが育つ公民館にします。
- 4、人と人との絆を紡ぎ幸せを実感できる公民館にします。

終戦直後に求められた公民館像は「みんなが気を合わせて働いたり楽しんだりするための溜まり場(寺中作雄文部省社会教育課長)でありました。それから約70年、今、公民館に求められているのは「人材育成」であり「人と人との絆」なのです。その機能をどれほど果たし得ているかと言われれば誠に心許ない限りです。

とはいえ、せつかくの施設と人材を生かさぬ手はありません。地域のニーズを(その有無も含め)しっかりと把握しながら新たな挑戦をしていきたいと思えます。